

一般社団法人

F・マリノススポーツクラブ 活動レポート

2022年12月の活動



F・Marinos Sports Club

F・マリノススポーツクラブ 理念



F・Marinos Sports Club

スポーツが持つ無限の可能性に挑戦し、
地域社会と共に「夢」と「幸せ」、そして「未来」を創出する。

【スポーツで繋がる、創る】

スポーツのチカラで人と人を繋ぎ、地域社会の未来を創るエンジンに

【あらゆる人に、スポーツを】

あらゆる人がスポーツを楽しみ、「夢」を追うことができる
環境・機会を創出し、地域社会にスポーツでもっと「幸せ」を

【この街から、世界へ】

世界で活躍できる選手を育成し、子供たちと地域社会に夢と未来を



2022年12月の活動一覧



F・Marinos Sports Club

No.	活動名	スライドNo.
1	西区サッカー交流会	4
2	手紙の書き方体験授業	5
3	全国知的障がい者サッカークラブ選手権～ジャトコカップ2022～	6
4	LTO WINTER EVENT 2022	7
5	2022 久里浜クリスマスフェスタ	8
6	久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定締結	9
7	瀬谷区横浜F・マリノスサッカー教室	10
8	泉区ふれあいスポーツ サッカー教室	11
9	エンジョイフットボール	12
10	Womanサッカー	13
11	スポーツだいすき！（大和市出前講座）	14
12	ふあんタイム	15
13	横浜F・マリノスフトゥーロ	16
14	ランニングクラブ	17
15	アカデミー（ユース①）	18～20
16	アカデミー（ユース②）	21～32
17	アカデミー（ジュニアユース）	33
18	アカデミー（プライマリー）	34・35
19	サッカースクール・スペシャルクラス	36

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	横浜F・マリノスフットーロ 西区サッカー交流会		
主催／協働	横浜市西区役所地域振興課、横浜市立浅間台小学校		
対象	横浜市立浅間台小学6年生		
実施日(期間)	2022年12月1日(木)	実施場所	浅間台小学校
活動の目的 解決したい課題	・インクルーシブスポーツへの理解・関心促進 ・横浜F・マリノスフットーロの認知		
活動内容	・F・マリノススクール・ふれあいコーチによる指導 ・横浜F・マリノスフットーロの渋谷選手・中村選手・文選手が参加		
活動の結果	参加者：6年生 ・授業の一環として、インクルーシブスポーツを体験してもらった。		
活動の様子	・参加者の子ども達もフットーロの選手たちの楽しく体を動かし、インクルーシブスポーツへの理解してもらえた。 ・右記写真を参照		
対応するSDGs	   		



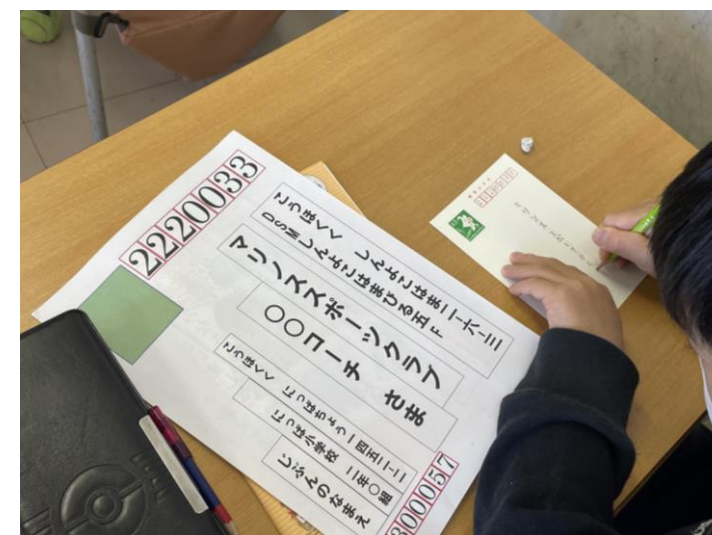
F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	手紙の書き方体験授業		
主催／協働	日本郵便株式会社 南関東支社／横浜市立新羽小学校		
対象	横浜市立新羽小学校2年生		
実施日(期間)	2022年12月8日(木)	実施場所	横浜市立新羽小学校
活動の目的 解決したい課題	・手紙の楽しみ、喜びを知る経験の場 ・自分の思いを書いて文字で伝えるという取り組みによる、基本的な言語能力の向上		
活動内容	・郵便局員による郵便配達の仕事、はがき(表面)の書き方、郵便ポストの歴史等の話 ・サッカー食育キャラバンでの担当してもらったコーチへ向けた手紙の作成		
活動の結果	・作成した手紙は、後日コーチたちに見てもらい、コーチたちも子どもたちへのお礼の手紙を作成 ・今後作成した手紙を横浜市内の郵便局に展示予定		
活動の様子	・最近では手紙を書くことがとても少なくなっているため、この取り組みはとてもいい機会だと感じた。 ・今後は、様々な小学校で実施し、コーチ以外の人（選手など）を対象にした手紙の作成も実施していきたい。		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	全国知的障がい者サッカークラブ選手権～ジャトコカップ2022～		
主催／協働	【主催】横浜マリノス株式会社／一般社団法人F・マリノススポーツクラブ 【特別協賛】ジャトコ株式会社		
対象			
実施日(期間)	2022年12月10日、11日	実施場所	時之栖スポーツセンターうさぎ島グラウンド
活動の目的 解決したい課題	全国の「クラブチーム」の日ごろのトレーニングの成果を発揮する場とネットワークづくりを目的とし、知的に障害のあるプレーヤーが「だれもが楽しめるサッカー文化を！」を合言葉に、「この大会に参加してよかった！」「この大会に参加したい！！」と感じられる大会を目指します。		
活動内容	全国から全4クラブが参加 30分ハーフのリーグ戦で順位を決定		
活動の結果	優勝：鹿児島ユナイテッドFCフューチャーズ（鹿児島県） 準優勝：静岡県選抜（静岡県） 3位：横浜F・マリノスフトゥーロA 4位：横浜F・マリノスフトゥーロB		
活動の様子	コロナ禍により2年間大会を出来ていなかったがどうにか開催でき、関わっていただいた皆様には感謝いたします。天気にも恵まれ、またジャトコ様の全面的なサポートにも助けられ、選手はのびのびとプレーしていました。		
対応するSDGs	    		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	LTO WINTER EVENT 2022		
主催／協働	NPO法人海さくら、日本財団／プロスポーツチーム(22年12月時点：20チーム)		
対象	誰でも（事前申し込み）		
実施日(期間)	2022年12月17日(土)	実施場所	江の島 片瀬東浜海岸
活動の目的 解決したい課題	スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクト。 「海にゴミは行かせない！」を合言葉に、街から海に流れるごみを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻す。 ※LTO活動の詳細は コチラ		
活動内容	江の島片瀬海岸でゴミ拾いを実施。 各チームから様々なゲストが参加。（F・マリノスからはマリノスケが参加） ゴミ拾いの他にも、ステージ上での催しやスポーツ体験コーナーを実施。		
活動の結果	ゴミ拾い参加者：762名 集めたゴミ(ゴミ袋)の数：可燃ゴミ115袋、不燃ゴミ68袋		
活動の様子	・ 天気が少し心配であったが、最後まで雨は降ることなく無事終わることが出来て良かった。 ・ 加盟チームや参加者が前回より増えていてとても賑やかだった。 ・ 今後もホームゲーム等でLTOを実施し、もっと多くの方に海・自然環境の意識を高めてもらえるようにしていきたい。 ※当日の活動の様子は コチラ		
対応するSDGs	   		



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	2022 久里浜クリスマスフェスタ		
主催／協働	久里浜観光協会、久里浜商店会協同組合		
対象			
実施日(期間)	2022年12月18日(日)	実施場所	京急久里浜駅「はろーど通り」
活動の目的 解決したい課題	・地域交流 ・久里浜地域の観光及び経済の活性化		
活動内容	マリノストライカーを出店 参加賞もあり、多くの子ども達の笑顔が見られた。		
活動の結果	体験者：延べ300名程度		
活動の様子	・とても多くの方々がフェスタに来場してくれていた。 ・列も途切れずに子ども達が参加してくれました。 ・右記写真を参照（写真提供：久里浜観光協会）		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【スポーツで繋がる・創る】活動レポート(22年12月)



F-Marinosaurs Sports Club

活動名	久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定を締結		
主催／協働	横須賀市・JR東日本横浜支社・京浜急行電鉄株式会社・横浜マリノス株式会社・F・マリノススポーツクラブ		
対象	横須賀市久里浜		
実施日(期間)	2022年12月26日	実施場所	会見を横須賀市庁舎で実施
活動の目的 解決したい課題	久里浜にF・マリノスの新たな練習場が整備されることに伴い、久里浜地区においてスポーツを核としたまちづくりを進め、来訪者の増加を図り、魅力あふれるまちにすること。		
活動内容	(1) スポーツの振興に関すること。(2) 地域の活性化に関すること。 (3) 東日本旅客鉄道株式会社が運営する横須賀線及び京浜急行電鉄株式会社が運営する京急線をはじめとする公共交通機関の利用促進に資すること。 (4) 横浜マリノス株式会社、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ、東日本旅客鉄道株式会社、京浜急行電鉄株式会社のファン獲得に関すること。 (5) 利用者や市民が久里浜地区に再訪したいと感じていただける取り組みに関すること。		
活動の結果	上記に基づき、今後様々な施策を展開していく予定		
活動の様子	各種メディア掲載（リンク先は別サイトになります） ・ 日本経済新聞 ・ サンケイスポーツ ・ 朝日新聞 ・ 読売新聞		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】活動レポート(22年12月)



活動名	瀬谷区横浜F・マリノスサッカー教室		
主催／協働	瀬谷区地域振興課、瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会		
対象	瀬谷区内の小学生		
実施日	2022年12月3日(土)	実施場所	瀬谷みはらし公園
活動の目的	・サッカーを通じて子どもたちの体力向上およびスポーツへの関心を高める ・プロチームの試合観戦への促進、および子どもたちのスポーツ意欲の向上		
活動内容	・2部制（1部：小学1～3年生、2部：4～6年生）で実施 ・実施時間はいずれも90分間 ・各回、サッカーの経験が多いグループと少ないグループに分かれて実施		
活動の結果	【①申込者数、②当日参加者数】 ・1部：①112名、②90名 ・2部：① 45名、②45名		
活動の様子	・昨年度の倍以上の申し込みがあり、毎年実施している成果が少しずつ出てきていることを実感。（1部は定員の50名を超えていたが全員当選として実施。） ・笑顔でボールを蹴っている姿がたくさん見られた。		
試合結果 ニュース等			



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】活動レポート(22年12月)



活動名	泉区ふれあいスポーツ サッカー教室		
主催／協働	泉区役所地域振興課、泉スポーツ推進委員		
対象	小学生		
実施日	2022年12月4日（日）	実施場所	泉スポーツセンター
活動の目的 解決したい課題	・ 泉区民向けのサッカーを楽しんでいただく活動		
活動内容	・ F・マリノススクール・ふれあいコーチによる、サッカー教室 対象：小学生（1コマ目低学年、2コマ目高学年）		
活動の結果	・ 参加人数：58名		
活動の様子	・ 今回初めて泉区ふれあいスポーツに参画。F・マリノスのコーチの指導によりサッカーを楽しんでいた。 ・ 学年により、人数に違いがあったため対象など検討していきたい。 ・ 右記写真を参照		
対応するSDGs			



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	エンジョイフットボール/F・マリノスDAY
主催	F・マリノススポーツクラブ
対象	1日18歳以上
実施日	①2022年12月4日 ②2022年12月9日
実施場所	①大和ゆとりの森 ②横浜市立吉田中学校
活動内容	ウォーミングアップ・技術トレーニング・試合形式
備考	①12月4日F・マリノスDAYと称し、開催 = 105名参加 ②12月9日EnjoyFootball = 32名参加



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】 活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	Womanサッカー
主催	F・マリノススポーツクラブ
対象	2022年12月1,8,15日
実施日	18歳以上の女性
実施場所	マリノストリコロールパーク新吉田,しんよこフットボールパーク
活動内容	ウォーミングアップ・技術トレーニング・試合形式
備考	合計＝延べ48名



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	スポーツだいすき！（大和市出前講座）		
主催／協働	大和市スポーツ課／大和シルフィード、F・マリノススポーツクラブ		
対象	福田保育園の年長さん		
実施日	2022年12月9日(金)	実施場所	福田保育園園庭
活動の目的	・健康づくりの基本となるスポーツ活動の推進 ・体を動かすことの楽しさやスポーツの面白さを体感してもらう		
活動内容	・大和市(スポーツ課)、大和シルフィード、横浜F・マリノスが連携して実施(3者連携は2021年度から) ・両クラブからコーチが参加して子どもたちへ指導 ・動きづくり、ボールを使った運動、試合などの内容を実施		
活動の結果	福田保育園年長さん28名 ※12月末時点で計11園実施		
活動の様子	2022年最後のスポーツだいすき。 寒い中での実施であったが、子どもたちはみんな笑顔で元気いっぱいだった。 今後もっと多くの大和市の子どもたちに、スポーツ(体を動かすこと)の楽しさを伝えていきたい。		
試合結果 ニュース等			



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	ふあんタイム
主催	F・マリノススポーツクラブ
対象	小学1～6年生の知的・発達障がい児
実施日	2022年12月24日
実施場所	マリノストリコロールパーク新吉田
活動内容	ウォーミングアップ・技術トレーニング・試合形式
備考	当日参加者 = 14名



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】 活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	横浜F・マリノスフトゥーロ ジャトコカップ / ツクイカップ
主催	横浜マリノス(株)、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ、 神奈川県知的障がい者サッカー連盟
対象	ジャトコカップ：横浜F・マリノスフトゥーロA・Bチーム ツクイカップ：横浜F・マリノスフトゥーロEチーム
実施日	ジャトコカップ：2022年12月10,11日（土、日） ツクイカップ：2022年12月14日(土)
実施場所	ジャトコカップ：時之栖うさぎ島グラウンド ツクイカップ：國學院大學相模原グラウンド/日産追浜総合グラウンド
活動内容	ジャトコカップ：4チーム総当たり、30分ハーフ ツクイカップ：15分ハーフ
試合結果	ジャトコカップ Aチーム：3位 vs鹿児島ユナイテッド2-4●、フトゥーロB5-0○、静岡選抜0-1● Bチーム：4位 vs静岡選抜0-0△、フトゥーロA0-5●、鹿児島ユナイテッド0-10● ツクイカップ vsかながわなでしこ 0-4● vsオルテンシアB 2-1○



F・Marinos Sports Club

【あらゆる人に、スポーツを】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

活動名	ランニングクラブ		
主催／協働	F・マリノススポーツクラブ		
対象	成人男性・女性		
実施日	2022年12月3、10 日（土）	実施場所	新横浜公園～鶴見川河川敷～日産スタジアム
活動の目的	・ランニング活動を通して、マリノスファミリーの獲得 ・ランニングの楽しさを体感すること、健康の寄与する活動 ・正しいウォーミングアップの伝達		
活動内容	・ウォーミングアップ、ストレッチを入念におこないランニング。 ・正しいストレッチ、ウォーミングアップを行いケガを予防。 ・ランニング中のフォームが乱れないように体幹トレーニングも実施。		
活動の結果	・徐々にランニングには気持ちいい気候になってきた。		
活動の様子	・両日ともに肌寒い気温であったが、ランニングを始めるとちょうどよい天候であった。 ・3日は次の日に様々なところでマラソン大会が実施されることもあり、参加者がいつもより若干少なめだった。		



F・Marinos Sports Club

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



ユース

高円宮杯JFAU-18サッカープレミアリーグ2022 EAST

■順位表

https://www.jfa.jp/match/takamado_jfa_u18_premier2022/east/standings/

■得点ランキング

https://www.jfa.jp/match/takamado_jfa_u18_premier2022/east/rankings.html

○最終順位：2位

総得点：1位（64得点）

○得点ランキング

得点王🏆：内野航太郎選手（21得点）



内野航太郎選手

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



ユース

高円宮杯JFAU-18サッカーリーグ2022 神奈川 K2

■順位表

<https://www.kanagawa-fa.gr.jp/cms/u18-league/2022/div2/>

○最終順位：4位

総得点：1位（55得点）

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



ユース

U-16日本代表パラグアイ遠征メンバーに選出



望月耕平選手

U-18日本代表IBARAKI Next Generation Cup 2022メンバーに選出



松村晃助選手

2022 横浜F・マリノスユース タイ遠征報告【P21～P32】



**F・Marinos
Sports Club**

日程



F・Marinos Sports Club

	12/18 (日)	12/19 (月)		12/20 (火)		12/21 (水)		12/22 (木)		12/23 (金)
		Football	Clinic他	Football	Clinic他	Football	Clinic他	Football	Clinic他	
7:00				Breakfast		Breakfast	移動	Breakfast		
7:30							↓			
8:00							↓			
8:30					移動		Kratoomrai Academy			
9:00		Breakfast		Training	↓					
9:30					↓					
10:00					Prime Bangkok Academy					仁川 09:55
10:30							移動	Lunch		↓
11:00						Lunch	↓			↓
11:30		Lunch		Lunch			↓			↓
12:00	成田空港集合				移動		↓	移動		↓
12:30		移動			↓	移動	↓			成田 12:20
13:00					↓			TRM 13:15K/o		
13:30		TRM 13:30K/o			↓	TRM 13:30K/o		vs Prime Bangkok FC (3部) U19		
14:00	成田 14:00	vs Rachpracha FC (2部)				vs Chonburi FC (1部) U19				成田空港解散
14:30	↓			移動						
15:00	↓			Training						
15:30	↓	TRM 15:30K/o				TRM 15:30K/o		TRM 15:30K/o		
16:00	↓	vs Kasesart FC (2部)		移動		vs Chonburi FC (1部) U17		vs Prime Bangkok FC (3部) U17		
16:30	↓									
17:00	仁川 16:50									
17:30										
18:00		移動				移動		Dinner		
18:30		Dinner		Dinner		Dinner		移動		
19:00			ECCレッスン	Meeting		Meeting		↓		
19:30			↓							
20:00	仁川 20:10									
20:30	↓									
21:00	↓							バンコク 21:10		
21:30	↓							↓		
22:00	↓							↓		
22:30	↓							↓		
23:00	↓							↓		
23:30	↓							↓		
0:00	バンコク 01:30							仁川 04:20		

タイについて



F. Marinos Sports Club

首都：バンコク
人口：6, 617万人（2021年）
宗教：仏教 94%、イスラム教 5%
面積：51万4000平方キロメートル（日本の約1.4倍）
言語：タイ語



気候について

12月
乾期



11月～2月でも日本の真夏のような気候です。
ただし、朝夕は肌寒い時もあるので、長袖の用意をしてください。
また、12月～2月はほとんど雨が降らず、気候が安定しています。

時差について

時差は日本の**2時間遅れ**となります。
(サマータイムはありません)
日本時間が午前10時の場合、タイは午前8時となります。

通貨について

タイの通貨単位は**バーツ(B)**
補助単位はサタンです。(1バーツ = 100サタン)
紙幣の種類：20、50、100、500、1,000バーツの5種類
硬貨の種類：25、50サタン、1、2、5、10バーツの6種類

* 1バーツ ≒ 約3.92円（2022年12月7日現在）
100バーツ ≒ 392円

ゲームレポート①

12/19 (月) 13:30K/o (45分×2本)
vsRajapracha FC (タイ2部)
@VERSO International School/晴れ/28℃



F・Marinos Sports Club



6 (3-0) 0

【得点者】
02分 上西
13分 桑原
23分 上西
75分 吉沢
77分 白須
89分 徳田



【戦評】

当日の朝3時にホテルに到着し、しっかりとした睡眠も取れていない状態、かつ冬の日本から気温の高いタイに来て順応もしていない状態での試合となった。相手はタイ2部リーグプロチームの若手中心のチームということを聞いていたが、半分は同世代の選手がいたように思う。

全く動けない想定で気温になれるための準備試合と位置付けていたが、思いのほか選手達は元気でウォーミングアップから集中して取り組んでいた。

試合も良い入りをして2分に左サイドを起点とし上西が先制点を奪い、その後も飲水までに3点を奪い優位に進めることができた。25分過ぎからやはり運動量が落ち、背後へのアクション、前線からのプレッシングなどのスピード感がなくなったことでボールを保持はするものの得点を奪えずに時間が進む。またレフェリーの基準も多少日本と違い、いい形で奪えてもすべてファールになってしまい流れが止まることが多く選手もストレスを感じていた。

後半の飲水で前線に人数をかけるように再度確認し、そこからもう一度アクションを起こしてくれたことによって残り15分で3点奪えたことは大きな成果であり、初戦からたくましい姿を見せてくれた。

(報告者：田島)

ゲームレポート②

12/19 (月) 15:30K/o (45分×2本)
vsKasetsart FC (タイ2部)
@VERSO International School/晴れ/27℃



F・Marinos Sports Club



2(1-1) 5

【得点者】
04分 失点
25分 大當
48分 失点
67分 OG
75分 失点
83分 失点
88分 失点



【戦評】

1試合目に比べ少し暑さは和らいできた中での試合で選手達もウォーミングアップから非常に集中力が高く、お互いに声を掛け合いこの遠征を充実した時間になろうとする姿勢を感じるものであった。

相手は、1-4-2-3-1のシステムで両SHがしっかりと幅を取りピッチを広く使い、またTOP下の選手がこちらの2ボランチの背後に常にポジションを取りつかまらない立ち位置を意識的に取ってきた。守備は前線からは全く奪いに来ず、簡単にハーフウェイラインを越える事が出来た。

試合は立ち上がりからスルーパスから背後を取られGKと1vs1を作られ最初のピンチで失点を許す。しかし、徐々に前線からの守備や球際で自分たちの流れを作り出す。相手PA内に侵入する回数も増え始め中央を完璧に崩し同点とする。高さやフィジカル的なアドバンテージが相手にあったのでCKなどのセットプレーは常に脅威であった。

後半に入り前半と同じ強度でのプレーができなくなってきた所を突かれ連続失点を許す。前線からアグレッシブに奪いに行った所を外された形が多く個人でスペースがある中での対応する場面の対応力を高めていかなければならないと感じた。

後半失点が重なりメンタル的にも下がってしまったがいつも以上に全員が声を掛けあい粘ろうとする姿勢は素晴らしかった。攻撃では速攻と遅攻をうまく使い分けられ良い崩しも多く見られた。サイドチェンジの場面も多く作れたが幅で受けてソロでの仕掛けが多く、オフザボールの工夫があればもっと相手に脅威になる攻撃が仕掛けられた。試合には敗れたが何かを掴もうとする姿勢は強く感じる内容であった。

(報告者：石村)

ゲームレポート③

12/21 (水) 13:30K/o (45分×2本)
vsChoburi FC U-19 (タイ1部)
@VERSO International School/晴れ/30℃



F. Marinos Sports Club



5(3-0) 2

【得点者】

13分 吉沢
17分 横山
33分 ブライト
50分 徳田
65分 吉沢
82分 失点
86分 失点



【戦評】

2試合目はタイ強豪アカデミークラブであるチョンブリFCとの試合。U18タイ代表選手も2名出場しているということで楽しみにしていた。また気温や日差しも1試合目よりも高く、よりタイ遠征に来たということを感じる中での試合となった。

試合は立ち上がりからしっかりとブロックを作りコンパクトに守るチョンブリに対しボールを動かしながらチャンスを伺うという展開で進む。横山、ブライトの2トップが背後と足元の両方を互いに作り、ライン間をうまく使えたことで前半のうちに3点を奪い優位に試合を進めることができた。

後半も積極的なプレッシングから前線で奪ってショートカウンターで2得点、飲水までに点差を広げた。後半飲水後からはさすがに運動量がガクッと減ったことと選手の経験値を上げるために3バックにしたことでカウンターをくらい2失点したが、最後までゴールを目指す姿勢を見せてくれた。

チョンブリのカウンターになった時のスピード感や人数は迫力があり、それを経験できたことは良かった。逆にその起点を作らせてしまうCB陣の弱さを感じてしまう場面も多く、課題を感じた。

(報告者：田島)

ゲームレポート④

12/21 (水) 15:30K/o (45分×2本)
vsChonbri FC U-17 (タイ2部)
@VERSO International School/晴れ/29℃



F・Marinos Sports Club



8(5-0) 2

【得点者】

06分 OG
24分 上西
40分 上西
42分 大當
45分 上西
49分 失点
63分 上西
76分 井川
87分 梶原
89分 失点



【戦評】

相手は、タイ2部リーグに所属するチョンブリFCのU-17チーム。前日にタイの国内大会を戦っていたためサブメンバーが中心との事。相手も、1-4-2-3-1システム。

立ち上がりから優位に試合を進め開始早々に先制点を奪う。相手の守備はミドルプレスが中心でハイプレスをかけてくるようなシーンはほぼ見られない。そのため相手陣内にはノーストレスで侵入できそこから如何に相手の守備組織を壊しPA内に侵入するかの問題だった。アタッキングエリアでのパスの質や連携面の質が低く3点目が中々奪えない。前半40分に3点目を奪ってから相手の集中力がきれ連続得点を奪い前半を折り返す。

後半に入り、相手も主力らしき選手を次々に投入してくる。また、暑さと前半からハイペースもありこちらの前への圧力が低下する。ただ、相手陣内でのプレー時間は前半同様長く続く。無失点で終わった試合だが、57分、90分と失点を喫し試合終了となる。

個人的には、秋田、宮田の2ボランチが攻守にわたり良いパフォーマンスを見せている。秋田は球際での強さを見せプレーエリアも非常に広くダイナミックなアクションが繰り返し見られる。宮田は、課題であった守備のポジショニング、カバーリング、球際など意識してプレーしている事が伺える。全体的にもコーチングも増え一人ひとり戦うハートは表に出せるようになってきているので次戦も継続したい。

(報告者：石村)

ゲームレポート⑤

12/22 (木) 13:00K/o (45分×2本)
vsPrime Bangkok FC U-19 (タイ3部)
@VERSO International School/晴れ/31℃



F・Marinos Sports Club



2(1-2) 2

【得点者】
09分 失点
32分 埜口
44分 失点
89分 白須



【戦評】

連戦となった最終戦は1試合目、2試合目とスカウティングしに来て、マリノス対策のトレーニングまで行ったと言っていたプライムFCとの試合。

出国前のJユースリーグ(コンサドーレ札幌戦)を含めると6日間で4試合という過酷なスケジュール下で疲労感がピークな中どれだけのパフォーマンスが出せるのか、チーム全体で頑張ろうと話を送りだした。

かなりコンパクトなブロックを作り、中盤でのパスカットからのカウンターを狙う相手に対し、こちらは動きが少なく近いところへのパスばかりになってしまい案の定DFラインでのパス交換をカットされて先制点を奪われてしまう。その後1点を返すものの流れは変わらず再度カウンターから得点を奪われ、リードを許したまま前半を終えた。アクションが少なくミスも多い内容だった。

きつくても背後へのアクションを起こそう、相手のDFラインをブレイクしようと思っただけ後半は次第に決定的なシュートまで持っていける場面が増え、相手も自陣に引きこもるようになったがなかなか得点が奪えず。試合終了前に白須のドリブル突破から同点に追いつき、その後もビッグチャンスを作るが決めきれずそのまま試合終了となった。最後まで諦めずにタフに戦ったことは素晴らしく、見ているほうにとっては好ゲームであった。

(報告者：田島)

ゲームレポート⑥

12/22 (木) 15:00K/o (45分×2本)
vsPrime Bangkok FC U-17 (タイ3部)
@VERSO International School/晴れ/30℃



F・Marinos Sports Club



2(2-2) 3

【得点者】
11分 井川
15分 失点
24分 上西
40分 失点
49分 失点



【戦評】

疲労と暑さ、慣れない食事などでコンディション的には厳しい事が予想される中での最終試合。相手は、プライム・バンコクFC U-17でシステムは、1-4-1-4-1。こちらは、この試合1-4-1-2-3システムを採用。

試合開始から、ボールを保持し優位に試合を進める。相手は、中盤でしっかりとブロックを形成しボールが入った所に厳しいプレスをかける。11分に中央を崩し先制点を奪う。その後、15分にPKを決められ同点とされるが、24分にCKのこぼれ球を上西が拾いそのままミドルシュートを決めリードする。しかし、40分に失点を喫い同点で前半を折り返す。2失点は許したものの気持ち、ボール際、戦術的にも充実した内容で前半を折り返す。

後半に入ると相手は、1-4-2-3-1でマンツーマンディフェンスに変更しセンターバック以外には非常にタイトなマークを付けて自由を奪いにきた。後半早々にサイドチェンジから対応が甘くなった所を突かれ逆転を許す。その後は、こちらが相手陣内で攻撃をし、相手は奪って鋭いカウンターの構図で試合が進む。なかなか相手のマークを外し前向きな状態を作れず決定機まで至らず。相手のマンツーマンを外すアイデア、トライを試みるも得点を奪う事はできず試合終了となった。

敗れたものの最後まで諦めず戦う姿勢を見せた事やチームで声を掛け合い助け合う一体感も見られた事はこれまでにない光景だった。まだまだ、ラスト1/3エリアでの質や個人で打開する力が必要だが実り多い最終戦であった。

(報告者：石村)

クリニックレポート①

12/20 (火) 10:30~12:00
Prime Bangkok Academy
71名 (U-10~U17)



F・Marinos Sports Club



クリニックレポート②

12/21 (水) 8:30~10:00
Kratoomrai Academy
60名 (U-10~U-14)



F・Marinos Sports Club



総括



F・Marinos Sports Club

今回の遠征は、新型コロナパンデミック後初めての海外遠征となった。海外渡航が初めての選手が約半数を占め期待と少しの不安の中、出国の日を迎えた。初日、14時に日本を出国し仁川空港でのトランジットの後、日付をまたぎ深夜2時頃入国しホテルにチェックインしたのは3時をまわっていた。仁川空港での雪の影響で約1時間遅れての到着となった。

試合の初戦は移動の疲れや睡眠時間も約4時間程の中で迎える事となった。また、気温は日本と約20度近く差がありコンディションの難しい中ではあったが、選手は出来る限りのベストを尽くす姿勢が見られた。2試合目以降の試合も気温30度前後の暑さの中ではあったが、非常に集中力と強度の高い試合が行えた。6試合ともにこちらが主導権を握る時間が長く、基本的に相手の前線からのハイプレスはほとんど無く、中盤ゾーンまで下がって待ち構える守備を如何に攻略するかの構図となる試合が多かった。ボールの失い方が悪かったりリスク管理が不十分であったりすると、鋭いカウンターを受けるシーンを多く作られた。特に、最終日のプライム・バンコクFCとの試合は、練習試合と感じさせない程にお互いに勝利へのこだわりを見せ、激しく厳しい中でもクリーンでフェアな攻防が繰り広げられた。このプライム・バンコクFCは、タイに来てからの我々の試合を全て観戦し、分析・対策を行い試合に臨んだとの事だった。

オフザピッチでは、ホテルとグラウンドの距離がバスで10分程で移動にストレスもなく時間を効果的に使えて非常に良かった。グラウンドでは、飲料水や軽食、試合・練習後のアイスバスなど素晴らしい環境を準備して頂けた。

心配された新型コロナをはじめとする感染症対策については、メディカルスタッフを中心に出国前の各種ワクチン接種推奨をはじめ、移動の際にはクラブから配布した指定マスクの着用やアルコール消毒の携帯、ビュッフェ形式の食事の際の手袋着用などこれまで通りの対策を行った。最終日に選手の一人が発熱、体調不良を訴えたためPCR検査を実施したが陰性を確認できた。また、新型コロナワクチンの3回接種が未接種の選手が3名いたため帰国前にPCR検査を実施し陰性証明を用意し帰国に備えた。帰国がスムーズに行くよう事前に3回接種証明のアプリの取得なども行っていたため非常にスムーズな入国審査で帰国できた。

日程がタイトでホテルとグラウンドの往復だけだったので、観光の時間もなくタイに来ている感覚があまりないとの感想もあったが、選手の多くは初めての海外遠征もしくは久しぶりの海外渡航で、試合だけでなく入国・出国手続きやトランジット、長距離移動など大切な経験も積めた。特に帰国の際、気温30度のバンコクから薄着で搭乗してしまいトランジットで、空港の外は気温3度の仁川空港で5時間過ごさなければならぬ体験をする選手もいた。また、レフリーや空港職員、ホテルのレストランの従業員、お土産店の店員などと会話をする機会も多くあり改めて外国語（英語）習得の必要性を感じたとの意見も選手から多く聞かれた。

短い遠征期間ではあったが、Jリーグ、現地コーディネーター、保護者、学校、クラブ関係者など多くの方々のご理解とご協力の下、選手・スタッフともに多くの学びや気づきを得る事ができ大変有意義で貴重な遠征となった。

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



ジュニアユース

高円宮杯JFA第34回全日本U-15サッカー選手権大会

ジュニアユース、ジュニアユース追浜、共に出場しました。

大会結果はこちら↓↓↓

http://www.jfa.jp/match/takamado_jfa_u15_2022/

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



プライマリー追浜

第4回CHALLENGE CUPU-12 (関東)

大会結果はこちら↓↓↓

https://www.juniorsoccer-news.com/wp-content/uploads/2022/12/22-CHALLENGE-CUP-U12-1st-EFL_1225.jpg

https://www.juniorsoccer-news.com/wp-content/uploads/2022/12/22-CHALLENGE-CUP-U12-2nd-KLL_1226-2.jpg

https://www.juniorsoccer-news.com/wp-content/uploads/2022/12/22-CHALLENGE-CUP-U12-1-13T_1227.jpg

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



プライマリー

第29回プリンシパルホーム F・マリノスカップU-10

大会結果はこちら↓↓↓

<https://www.f-marinos.com/news/academy/5042>

■個人賞

MVP 川埜 蒼真 (川崎フロンターレ)
得点王 岩田 陸叶 (川崎フロンターレ)
GK賞 岸野 太祐 (バディーSC)

■ベストプレイヤー賞

藤田 日向輝 (川崎フロンターレ)	近藤 幾一 (バディーSC)
安永 唯人 (川崎フロンターレ)	渥美 希一 (マリノススペシャル)
田中 譲 (バディーSC)	飯田 九十九 (マリノススペシャル)
徳武 魁 (バディーSC)	中沖 楓斗 (レジスタFC)

【この街から、世界へ】活動レポート(22年12月)



F・Marinos Sports Club

サッカー・スクール

◆主な実施イベント

■12/18(日) F・マリノスEnglishSoccerSchool @トリコロールパーク新吉田

＜対象＞ 幼児～小学2年生

■12/24(土) Jクラブスクール交流戦U-10大会 @大和ゆとりの森大規模多目的スポーツ広場

＜対象＞ 小学4年生

＜参加クラブ＞

FC東京スクール、湘南ベルマーレスクール、ヴァンフォーレ甲府スクール、マリノスサッカー・スクール

■12/25(日) スクール全校交流戦トリコロールカップ(低学年の部) @大和ゆとりの森大規模多目的スポーツ広場

＜対象＞ 小学1, 2年生

■12/26(月)～28日(水) ウィンタースクール @トリコロールパーク新吉田

＜対象＞ 幼児～小学生



supported by NISSAN



スペシャルクラス

◆各クラス(新横浜・追浜・大和)の活動報告

■ベガルタ仙台アドヴァンスクラスとの交流戦(12/26)

■マリノスカップU-10大会への参加